

WAKA AYU

地域包括ケア病棟の利便性が向上

病棟診療部長 滝田純子

充実したリハビリテーションを提供

理学療法士長 野崎亮太

レスパイト入院のご案内

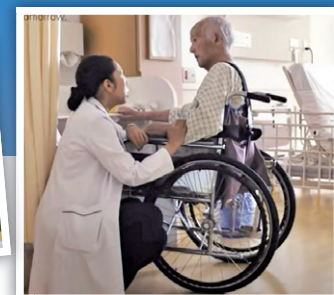
地域医療連携室主任 伊澤秀行



**リハビリ、レスパイト、慢性疾患に対応
地域に密着した地域包括ケア病棟とは**



地域包括ケア病棟の利便性が向上



病棟診療部長 滝田 純子

地域包括ケア病棟とは

東日本大震災で大きく損傷した病棟の大規模建て替えに伴い、地域医療へより一層貢献できるシステムを構築するため、2014年11月1日、北病棟4階に地域包括ケア病棟60床を整備しました。地域包括ケア病棟は、通常診療や救急医療と異なる役割がありますが、2022年度より運用を改め、更に利便性を向上させました。しかし、コロナ禍で直接の交流機会が極端に制限されたため、連携医や地域の方々へ紹介する機会がありませんでした。改めて、これからの全世代共生社会に当院が果たすべき貢献のひとつとして、地域包括ケア病棟を紹介します。

1. 地域包括ケア病棟の概要

地域包括ケア病棟は、通常、高齢者や慢性疾患など特別なケアが必要なすべての患者さんが対象です。患者さんそれぞれが、基本的には地域にとどまりながら、適切な介護等を受けつつ、いつもより少し多めの治療行為を必要とする際



に、入院の垣根を軽減し、リハビリテーションを含めた適切な社会復帰へ向けた全人的なケアを提供します。

2. 地域との連携

地域医療を守る連携医や、看護・介護を提供する方々と緊密に連絡をとり、一人ひとりの患者さんについて当院を介して情報をネットワーク化して共有するようにしています。この医療連携により、患者さんと家族は、この地域でたくさんの医療システムに守られることとなり、「どうしたら良いのだろうか、どこへ相談すればわからない」というストレスや、過度な通院の負担を減らすことができます。



3. 慢性疾患の管理

慢性疾患の患者さんは、持病悪化の懸念を常に抱えています。例えば、COPDや糖尿病など、急性期病棟での厳密なモニタリングや集中的な医療は必要ではないが、家で管理するのは少し

難しい病状に陥ってしまうことがあります。このような時に、地域包括ケア病棟を利用できます。患者さんの定期的なモニタリング、在宅酸素や自己注射導入などの治療調整、糖尿病の教育プログラムなど、慢性疾患の管理について、入院だからこそ可能となるきめ細やかな医療を提供します。地域包括ケア病棟では、特にリハビリテーションについて、週末にも理学療法および作業療法を行っています。



4.レスパイト入院の本格稼働

地域包括ケア病棟へのレスパイト入院について、本格的な受け入れを開始しました。2022年4月の診療報酬改定に伴い、地域の患者さんの直接受け入れの比率が全入床の40%を超えるように、地域包括ケア病棟のシステムを変更しました。

レスパイト入院は、介護が必要な患者さんや高齢者のみなさまに一時的なケアを提供するためのプログラムです。特に、主要な介護者(家族など)が休息やリフレッシュを必要とする場合や、農繁期や多忙により患者さんの身の回りのことまで十分に手がかけられない場合などは、レスパイト入院の適応になりますので是非ご相談



談ください。期間としては、おおよそ2週間以内を目安に、事前面談にて患者さんと家族の事情を伺いながら、ニーズに合わせてできるだけ柔軟に対応します。連携医はもちろん、社会福祉協議会や訪問介護ステーション、ケアマネジャーからの相談も地域医療連携室にて承ります。また、患者さんや連携医のさまざまなニーズや事情に応じる取り組みの一つとして、有事の際、確実に患者さんの入院を受ける後方支援病院契約もおこなっています(詳細は地域医療連携室へお問い合わせください)。

5.患者さんとともに歩むということ

超高齢社会といわれて久しいなか、地方と都会の格差の広がりには残念ながら現実です。一方で、慢性疾患を患っていても、高齢者であったも、誰にでも、それぞれの人生を楽しみ、輝かせる権利があります。当院は、病気の治療だけではなく、患者さんの「良い時間」を少しでも増やせるようなプラスアルファの入院治療を目指しています。地域から受け入れた患者さんが、笑顔で退院される時、私たちも幸せになります。外来で「ありがとうね」と言われる時、「この仕事をしていてよかった」と感じることができます。我々と患者さんは、常に「おたがいさま」であり、ともに励まし合いながら元気になれる、そんな関係がとれる病院でありたいと願っています。当院の地域医療貢献に対する本気、それがこの地域包括ケア病棟に結集されています。どうぞよろしく願いいたします。



充実したリハビリテーションを提供



理学療法士長 野崎 亮太

リハビリテーション科の紹介

当院リハビリテーション科(リハビリ科)は、最も景色の良い北病棟の最上階にあります。室内のリハビリだけでなく、ドアを開ければ「リハビリ広場」と称する屋上テラスがあり、宇都宮周辺を一望しながら気持ちの良い環境でリハビリを行うことができます。

リハビリ科は、理学療法士18名、作業療法士7名、言語聴覚士4名で構成され、急性期、地域包括ケア、療養型のすべての病棟でリハビリを行っています。特に、地域包括ケア病棟では、リハビリ目的の入院が多いため、同病棟専従の理学療法士を配置し、1日2回(午前・午後)のリハビリを実施しています。また、3連休以上の休みがないように連続性を保つなど手厚く提供しています。

1.理学療法

理学療法は、多岐にわたる医療疾患に対し、個別対応のリハビリテーションを提供しています。呼吸器や心疾患、中枢神経疾患、整形外科疾患、重症心身障害、神経難病等、幅広い領域において、運動機能の回復とADL向上を支援し、退院に向けた環境整備も他職種と連携しながら行っています。専門的な資格を取得したセラピストもおり、リハビリの質の向上に取り組んでいます。屋上テラスでの屋外歩行訓練等も取り入れており、外の風にあたりながら周囲の山々を見つりリラックスした環境でリハビリを行っています(P4左上図)。

脊椎疾患では、足の重心圧の移動を計測し、バランスを数値化できる重心動揺計なども導入しています。

リハビリテーション科スタッフ



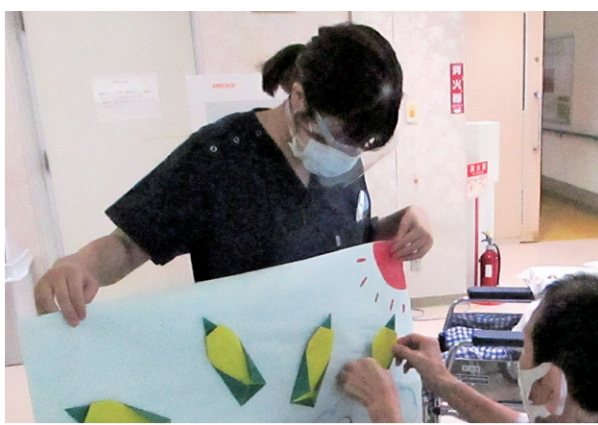
重症心身障害病棟では、全ての患者さんにリハビリを実施しています。主に拘縮予防を目的とした関節可動域訓練や、運動発達・機能維持を目的とした座位・歩行訓練や車いす自走訓練、小児科医師および病棟看護師と協力しながら腹臥位等での体位ドレナージなどの呼吸リハビリも行っています。また、多職種間で情報共有、計画立案を行い、病院での生活が少しでも快適に過ごせるようリハビリを実施しています。

神経難病は長期療養が多く、専従理学療法士を配置し、関節可動域訓練・ポジショニング・車椅子乗車・歩行訓練などを行っています。専従を置くことで、リハビリの介入頻度が増え、小さな変化にも気づきやすくなりました。また、関連職種との窓口になり、情報共有・連携・協力が円滑になりました。今後さらに専門性を発揮し、患者さんに寄り添い、充実したリハビリを提供できるように努力しています。



2.作業療法

作業療法では、退院を目指したりハビリだけでなく、長期療養の患者さんに対して日常生活動作の練習やコミュニケーションの支援も実施しています。神経難病では、病状に合わせたスイッチの選定(接点・空気圧・視線入力等)や自助具の作成、意思伝達装置(伝の心・タブレット端末)の導入を行い、意思表示の援助を行っています。多職種間で情報共有し、「生活の質(QOL)」の向上に向けた話し合いも行っています。



3.言語聴覚療法

ことばによるコミュニケーションには、言語、聴覚、発声・発音、認知などの各機能が関係していますが、病気や重症心身障害などでは、これらの機能が損なわれることがあります。言語聴覚士は、ことばによるコミュニケーションに問題がある方に専門的サービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職です。また、摂食・嚥下の問題にも専門的に対応します。当院では摂食・嚥下機能障害が多く、言語聴覚療法の大半を占めています。

4.チーム医療・多職種連携

医師、病棟看護師、リハビリテーション科スタッフを中心とした多職種によるカンファレンスを定期的に行い、患者さんごとに機能を評価し、問題点を整理した上で、適切なリハビリテーションが提供できるように計画を立てています。これにより、多くの患者さんが早期退院を実現できています。



5.その他の取り組み

地域の健康づくりをサポートするため、健康講座や市民公開講座を定期的で開催してきました。更に、個別の要望に応じるため、リハビリ科も含めた病院職員が出向いて行う「出前講座」も行ってきました。これらは、新型コロナウイルス感染により一時中断していますが、感染状況を見ながら近い内に再開予定です。また、看護の日のイベントでは、健康寿命の延伸に向け「運動の習慣化」を目的とした取り組みを行ってきました。当院ホームページ上に、上記を含めた活動記録「リハビリ通信」を定期的に発行しておりますので、ぜひご覧ください。



施設基準等

- ・運動器疾患リハビリテーション料(I)
- ・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
- ・呼吸器疾患リハビリテーション料(I)
- ・廃用症候群リハビリテーション料(I)
- ・障害児リハビリテーション料



レスパイト入院のご案内

～すべては患者さんとご家族の安心のために～

地域医療連携室 主任
医療社会事業専門員
伊澤 秀行

1. レスパイト入院とは

- 患者さんやご家族など介護者の休養を目的として、患者さんに短期入院いただくものです。
- 介護者の事情により一時的に自宅での療養継続が困難となった場合にご利用いただけます。



2. 対象となる方

- 症状の安定している方で医療スタッフの見守りを必要としている方。
- おおむね入院後14日以内にご自宅等に戻ることが出来る方。

ご利用までの流れ

- かかりつけ医やケアマネジャー等を通して事前の相談・申し込みが必要です。
- レスパイト入院を希望される方は、ケアマネジャー等に希望をお伝えください。
- ご利用希望日の少なくとも2週間前までにお申し込みください。
- 急を要する場合は、随時相談に応じます。
- 初めてのレスパイト入院利用の場合、事前の家族面談が必要となります。



レスパイト入院申込みの手順

かかりつけ医
担当ケアマネジャーなど

月～金(祝祭日を除く) 8:30～17:00

地域医療連携室 直通電話 **028-673-2374**

地域医療連携室直通FAX **028-673-1961**

申込み受付後、担当MSWより
初回受診日等調整

外来にてレスパイト利用前に、
医師と面談、その後入院日決定

レスパイト入院利用開始

3. お申込み方法

- ご利用を希望される方は、主治医の先生や訪問看護スタッフ、ケアマネジャーなど日頃支援を受けている方をおしてご相談ください。
- 当院地域医療連携室を相談窓口として適切なご利用が行えるか確認をさせていただきます。
- 初めてレスパイト入院をご利用される場合、事前の家族面談が必要となります。

4. レスパイト入院の留意点

- ご利用中に治療を行うものではありません。体調の急変等があった場合は、速やかにご連絡させていただき、一般診療に変更させていただくことがあります。
- 内服薬、経腸栄養剤、医療材料、おむつ等は入院期間分をご持参ください。
- 入院費につきましては、個室差額室料等を除き医療保険が適用されます。
- 健康保険証、限度額認定証、重度障害、特定医療費助成受給者証等をご提示ください。

*レスパイト入院は、ご利用いただく皆様の療養生活上の安心と安全を提供するためのサービスです。医療スタッフの目の行き届いた環境のもとでご本人にお過ごしいただき、ご家族が心身のご負担を軽減することにより、患者さんの在宅療養生活につながることを存じます。この医療サービスが地域に根差していくために、ご利用後のご要望やご意見等を地域医療連携室スタッフ等にお聞かせいただくとともに、次回ご予約などのご希望をご相談いただければ幸いです。

～連携室だより～

【連携医のご紹介】

医療法人 大香会 みやの杜クリニック

たかはし まさかず
●院長● 高橋 雅一

●診療科● 内科・小児科・消化器内科・外科

●住所など●

住所：宇都宮市陽東2丁目4-5

電話：028-683-7811

(ホームページ) <http://miyanomori-cl.jp>

●当院紹介●

みやの杜クリニック 院長の高橋雅一です。

当院は、陽東の産業通り沿いにあり、LRT 陽東3丁目駅から徒歩で約10分の位置にあります。

地域の方々の日常の健康診断をはじめ、市のがん検診や生活習慣病などの治療を行っております。

また当院は、平成30年に真岡市高勢にある医療法人大香会のグループの中のクリニックの一つとなり、西真岡こどもクリニックで培われた専門的なこども医療も行っております。

私は、大学卒業後、大学にて消化器がんの診断や治療に携わり、紹介されるまでにいかに早く病気を見つけるかが大事であることを痛感いたしました。

当院に来てからは、一般診療のみならず、病気になる前の予防医学、そして初期段階での発見にも力を入れたいと考えており、予防接種や健康診断も積極的に行っております。

大病院のように1回に多くの人を健診することは出来ませんが、一人ひとり細やかに診察したいと考えております。

NHO 宇都宮病院には、以前非常勤医師として勤務させていただいておりました。NHO 宇都宮病院の先生方と連携を取りながら地域の方々の健康増進にこれからもますます寄っていきたいと考えております。

● 診療時間 ●



	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	△	○	○	○	△	△
16:00~18:00	○	○	△	○	○	△	△	△
備考	△12:00~14:00 予約診療							



外来診療担当医表

(令和5年10月1日～)

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
糖尿病・内分泌内科	午前	佐藤 稔	菊池 朋子	田中 精一	佐藤 稔	西田 舞
	午後					森(最終金曜日)
脳神経内科	午前	作田 英樹			渡邊 悠児	
	午後	作田 英樹				
神経難病外来(予約制)	午後			作田 英樹		
頭痛外来(予約制)	午後		渡邊 悠児			
消化器病センター	午前	金森 瑛	菅谷 洋子	山浦 正道	井澤 直哉	水口 貴仁
	午後	鈴木 優花	菅谷 洋子		菅谷 洋子	
呼吸器・アレルギー内科	午前	野村 由至 杉山公美弥 坂本 典孝	梅津 貴史 勝部 乙大	矢澤 那奈	矢澤 那奈 坂本 典孝	野村 由至 池田 直哉
	午後	杉山公美弥				沼尾利郎(第2・3週) 池田 直哉
禁煙外来(保険適用)	(午後予約制)	杉山公美弥				沼尾利郎(第2・3週)
リウマチ膠原病内科	午前	杉山公美弥		吉田 雄飛		
	午後	杉山公美弥		吉田 雄飛		杉山公美弥 (第1・3週)
総合診療科	午前				南 建輔	
小児科	午後		影山さち子 [予約制]	迫 恭子 [予約制]	迫 恭子 [予約制] 子供療育相談ルーム [予約制](第2・4週)	
	午前	増田 典弘 正田 貴大	小川 敦 若山 成芳	滝田 純子 小川 敦	増田 典弘 滝田 純子	滝田 純子 増田 典弘
外科	午後		山口 悟 (大腸肛門)			中島 政信 (食道)
	午前					中島 崇裕
整形外科	1 診	田中 孝昭 (関節外科)	茶藪 昌明 (脊椎) (予約のみ)	熊谷吉夫(第1・5週) 田中孝昭(第2・3・4週) (関節外科)	茶藪昌明(第1・2・3・5週) (脊椎) (初診は紹介患者のみ)	熊谷 吉夫 (関節外科)
	2 診	一森紫衣奈 (整形一般)	一森紫衣奈(第1・3・5週) 澤田尚武(第2・4週) (整形一般)	澤田尚武(第1・5週) 泉原亮友(第2・4週) (整形一般) 熊谷吉夫(第3週) (関節外科)	朝田淳史(第1・3・5週) 石川義久(第2・4週) (整形一般)	朝田 淳史 (整形一般)
リウマチ科 (整形外科1診)			熊谷吉夫(第1・5週) 田中孝昭(第2・3・4週)			
リハビリテーション科			茶藪 昌明	茶藪 昌明		熊谷 吉夫 熊谷 吉夫
装具外来 側弯症外来	午前	田中 孝昭			茶藪昌明(第4週) (側弯)(初診は紹介患者のみ)	
泌尿器科	午前	西原 大策	国分 英利	木島 敏樹	西原 大策	
	午後		国分 英利	木島 敏樹		
障害者歯科						石川 博之

外来受診案内

- 初診及び予約のない方の外来診療受付時間は、8:30～11:00 迄です。
緊急で来院される場合は、電話でお問い合わせ下さい。
- 地域医療連携室 TEL 028-673-2374(直通) FAX 028-673-1961(直通)
担当(ソーシャルワーカー)：畑野・吉田・市村・福富・佐藤・井澤・永山(内線 133)

- 下記は入院患者さんを中心として診療しております。

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
循環器内科	午前		伊藤 致	田所 寿剛	廣瀬優(第1・2・4・5週) 矢澤寛子(第3週)	井上 弘貴
	午後		伊藤 致	田所 寿剛		
歯科		渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子
眼科	午後					松原 忠之
皮膚科	午後			平野 智隆		
耳鼻咽喉科	午後	永島 祐美				

- 休診は土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)です。
- 都合により臨時休診になる診療科もありますので、ご確認のうえ、ご来院ください。



独立行政法人(NHO)
国立病院機構 宇都宮病院

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160

TEL 028-673-2111 FAX 028-673-6148

<https://utsunomiya.hosp.go.jp>